

看護実践研究会
演題募集要項

1. 申込資格

- 1) 発表者は、当年度兵庫県看護協会会員に限ります。
- 2) 共同研究者の看護職者は、当年度兵庫県看護協会会員に限ります。（他職種の場合は、この限りでない）

2. 募集演題について

1) 部門

次の2部門において演題募集を行います。

※研究報告部門・・・日々の看護実践の中から、研究として取り組んだものの成果について発表する。

※実践報告部門・・・日々の看護実践の中から、看護実践の詳細とその成果について発表する。

2) 発表形式

- 1) のいずれの部門とも、どちらかの形式を選択してください。

※発表形式は、申し込み受付後、調整することがあります。

※感染等状況によって、発表形式を制限する場合があります。

- ・口演発表：スライドを使い口頭で発表
- ・示説発表：ポスターの掲示による発表

3. 演題応募について

1) 応募期間

例年 4月15日 ～ 6月15日 [必着]

2) 提出書類（所定の様式は本会HPからダウンロードできます）

(1) 演題申込書（研究会様式1）

※査読結果の通知、修正が必要となった場合の原稿の再提出等をメールで行いますので、PCメールアドレスを必ずご記入ください。PCメールアドレスがない場合は、その旨ご記入ください。

(2) 演題応募チェックリスト（研究会様式2）

注）チェックリストにすべてチェックが入ったものをお送りください。

(3) 集録原稿 A4用紙 3枚以内（枚数厳守）

査読は応募者が特定できないよう、発表者と共同研究者全員の氏名と所属の部分を伏せて行います。

3) 演題応募先

- 2) の書類をご準備のうえ、兵庫県看護協会研修サイトまたはメールにてご応募ください。

研修サイトから応募 … 研修名「看護実践研究会」または研修No.で検索し申込

※研修No.は年度ごとに変更

メールによる応募 … 送信先 「kyouiku@hna.or.jp」

件名は「看護実践研究会 演題応募」としてください。

4) 提出にあたっての注意事項

下記の場合は、受理できません。

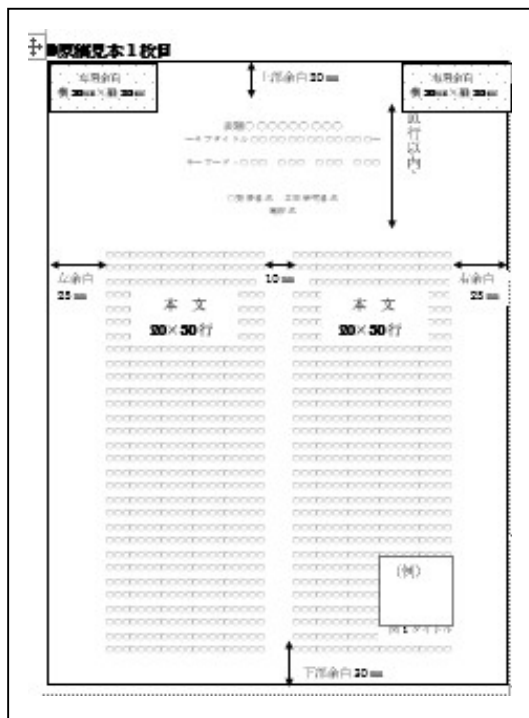
- ・発表者および共同研究者が当年度兵庫県看護協会会員でないもの（他職種は除く）
- ・他の学会や雑誌の紙面で発表予定（投稿中も含む）のもの、もしくはすでに発表されたもの（施設内発表および兵庫県看護協会支部での発表は可）
- ・提出書類に不備や不足のあるもの（原稿が指定された書式に則って作成されていない場合等）
- ・受付期間外に届いたもの

4. 集録原稿作成方法

- 1) 書式は、A4 版横書きで 4400 字以内（用紙 3 枚以内、表題・資料・図表・引用文献も含める）で作成してください。書体、文字サイズも指定があります。「集録見本」をご参照ください。（本会ホームページより書式フォームをダウンロードできます。）

※トップページ 兵庫県看護協会 | [兵庫県看護協会 \(hna.or.jp\)](http://兵庫県看護協会(hna.or.jp)) ⇒ 看護実践研究会 | 看護実践研究会
| [兵庫県看護協会 \(hna.or.jp\)](http://兵庫県看護協会(hna.or.jp))

2) 集録原稿の記載方法



- ・用紙は A4 サイズを縦使いにし、パソコンで作成してください。
- ・余白は、上部 20 mm、下部 30 mm、左右 25 mm 程度、左右両肩に、横 35 mm×縦 25 mm をとってください。
- ・表題は中央に配置し、文字サイズは 12 ポイントにしてください。
- ・サブタイトル、キーワード、発表者名、共同研究者名、施設名は 11 ポイントで中央に配置にしてください。
- ・発表者名の前に○印をつけてください。
- ・キーワードは、論文内容を表す重要な語句 3～5 個を記入してください。
- ・本文は、2 段組にし、1 段 20 字×30 行（A4 用紙 3 枚以内、4400 文字以内）
- ・文字サイズは 10.5 ポイント、※書体は MS 明朝にしてください。
- ・提出された原稿がそのまま印刷されるので文字間、行間は見やすさも考えて設定してください。
- ・文字及び記号（句読点、コンマ、かっこ等）は 1 文字又は 1 記号を 1 文字としてください。
- ・外国語は、原語を用い、大文字・小文字ともに半角文字、数字は算用数字で半角文字としてください。
- ・図、表を挿入する場合、レイアウトは自由ですが、論述の根拠となるデータを厳選し、図・表内の文字、数字は判読可能なものを挿入し、図・表には図表番号とタイトルをつけて下さい。

※図、表は白黒で印字し、きちんと見えるものであるか確認してください。（集録は白黒印刷となります）

●原稿 2 枚目以降

- ・本文は上記同様 2 段組で、1 段 20 字×40 行で設定してください。
- ・その他、本文は 1 枚目と同様です。（上部余白 20 mm 程度、段間余白 10 mm、左右余白 25 mm、下部余白 30 mm）

3) 集録原稿のまとめ方

下記【研究報告の場合】、【実践報告の場合】を参照に記述してください。

【研究報告の場合】原則以下の項目についてまとめてください。

1. 「はじめに」：今回の研究に取り組んだ、背景、仮説、意義を述べる
2. 「目的」：今回の研究で明らかにしたいことを述べる
3. 「方法」：今回の研究目的を達成するための研究方法（期間、対象、調査項目と調査方法、分析方法）を述べる
4. 「倫理的配慮」：日本看護協会の「看護研究における倫理指針（2004 年）」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017）」を踏まえ、倫理的に配慮されていること、また研究実施にあたって倫理委員会で承認を受けていることを述べる
5. 「結果」：今回の研究で明らかになった事実を述べる
6. 「考察」：得られた結果に基づき、研究の仮説、目的に対する解を文献を引用しながら議論する
7. 「結論」：今回の研究で明らかになった事実を簡潔にまとめる
8. 「利益相反」：利益相反の有無について述べる

【実践報告の場合】・原則以下の項目についてまとめ、実践内容がわかるように具体的に記載してください

1. 「はじめに」：今回、実践を報告、もしくは振り返ろうと思った背景を述べる
2. 「目的」：実践を報告、もしくは振り返る目的を述べる
3. 「方法」：どの時期の実践をいつ、どのように振り返った、もしくはまとめたか述べる
(例：カルテから患者情報、実践内容、患者の反応について収集する)
4. 「倫理的配慮」：実践報告に際し、個人情報の保護が担保されていること、また実践を報告するにあたって倫理委員会で承認を受けていることを述べる
5. 「結果」：今回報告しようとする実践内容に焦点を当て、実践の意図・目的が伝わるように、必要に応じて、患者情報、看護問題、実践内容、実践の評価について述べる
6. 「考察」：得られた結果（報告した実践内容）に基づき、行った実践を目的に沿って考察する
7. 「結論」：今回の実践報告で得られた知見を簡潔に述べる

●看護実践研究会発表時、申告すべきCOI状態の掲示について

- ・口頭/ポスター発表：1枚目のタイトルスライドの次(2枚目)に利益相反(COI)のスライドを作成ください
※利益相反の有無にかかわらず、すべての発表者に開示いただく必要があります

COI(利益相反)開示スライド例

①開示すべきCOIがない場合

看護実践研究会 COI 開示
発表者名： ○○ ○○ 本演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

②開示すべきCOIがある場合

看護実践研究会 COI 開示
発表者名： ○○ ○○ 本演題発表に関連し、○○株式会社から研究者所属の看護部への研究費等、および○○について無償で提供を受けている

4) 文献の記載方法

(1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に¹⁾ ²⁾と番号をつけ、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載してください。

(2) 文献の種類別記載方法

〔雑誌掲載論文〕 著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)。

〔単行本〕 著者名：書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

著者名：表題名，編者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

〔翻訳書〕 原著者名：書名(版)，発行年，訳者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

〔電子文献〕 著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)，アクセス年月日，URL，発行機関名(調査/発行年次)，表題，アクセス年月日，URL。

※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする

(3) 文献の共著者は3人まで表記し、それ以外はその他としてください。

5) 査読基準を本会ホームページに掲載します。

5. 倫理的配慮について

1) 「人」を対象とした研究や実践報告の場合、対象者に対して下記(1)～(7)のような倫理的配慮を行ってください。

- (1) 先行文献を調べて活用する
- (2) 研究対象者への研究目的や方法などの説明と自由意思による同意を得る
- (3) 研究参加を承諾した場合でも、途中で中止を申し出ることの権利を保障する
- (4) 対象者のプライバシーに十分配慮して、研究を実施する
- (5) 個人情報の取り扱いには十分注意を払い、知りえた情報を研究目的以外の用途で使用しない

- (6) 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮する
- (7) 研究結果を公表することについて対象者に説明をし、承諾を得る
- (8) 利益相反の有無を明記（原稿の文末/参考・引用文献の前）する

※利益相反とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる利益を社会に還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、権利など）が研究者個人の中に生じる状態、利益相反の有無を自己申告することにより、行った研究の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

・記載例 <利益相反がある場合>

本研究に関連して、過去1年間に△△社から研究者所属の看護部への研究費、奨学寄附金および個人的な講演謝礼を受けている。

<利益相反がない場合>

本研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

*引用：日本看護学会「論文作成のポイントと倫理的配慮 6. 利益相反」

- (9) 自施設等の倫理委員会（または倫理審査委員会相当の機関）での承認を得る

- 2) 集録の記述内容から、個人が特定されないよう、研究フィールドや施設の表記に配慮してください。

特に以下の点には注意してください。

- (1) 固有名詞を使用しない。「当院」「当病棟」などの表記もしないこと。
- (2) 写真などを掲載は、研究結果を示すのにどうしても必要な場合のみに限定し、本人の承諾を得ること。

- 3) 文献から図・表や本文を引用する場合は、著作権に配慮し、出典を明記してください。

- 4) 既存の尺度を使用する場合は、集録原稿に、尺度の作成者から承諾を得たこと、もしくはその出典を明記してください。

6. 発表データについて

1) スライド作成について

- ・発表用スライドはPowerPointで作成し、保存形式の拡張子は.pptxで保存し提出ください
- ・スライドのサイズは16:9（横向き）ワイド画面で作成ください
- ・動画の挿入はできません
- ・ファイル名は「○群○席 発表者名」（例：1群6席 兵庫はな子）
- ・施設名は「A病院」等匿名化してください。対象者の特定化につながるため、当院や当病棟の表現はできません。
- ・個人の特定につながる情報（写真、実名、施設名、地名、入院年月日等）は匿名化または削除してください。
- ・非表示スライドに設定されているスライドは削除してください。

2) 発表データの提出方法について

- ・kyouiku@hna.or.jp宛に 件名「看護実践研究会 No. ○○発表データ」としてください

3) 発表および発表時間について

- ・発表10分前には指示された座席にお座りください。前の発表の質疑が始まりましたら発表できるようにご準備ください
- ・発表時間は7分です。時間厳守をお願いします。その後質疑応答を3分行いますが、討論時間が不足した場合、後ほど回答する旨をお伝えし発表を終了してください。
- ・画面操作は、演台のパソコンを使用し、演者ご自身で操作をお願いします。
- ・発表終了時間は、座長席よりベルでお知らせします。

4) オンライン発表

(1) 発表および発表時間

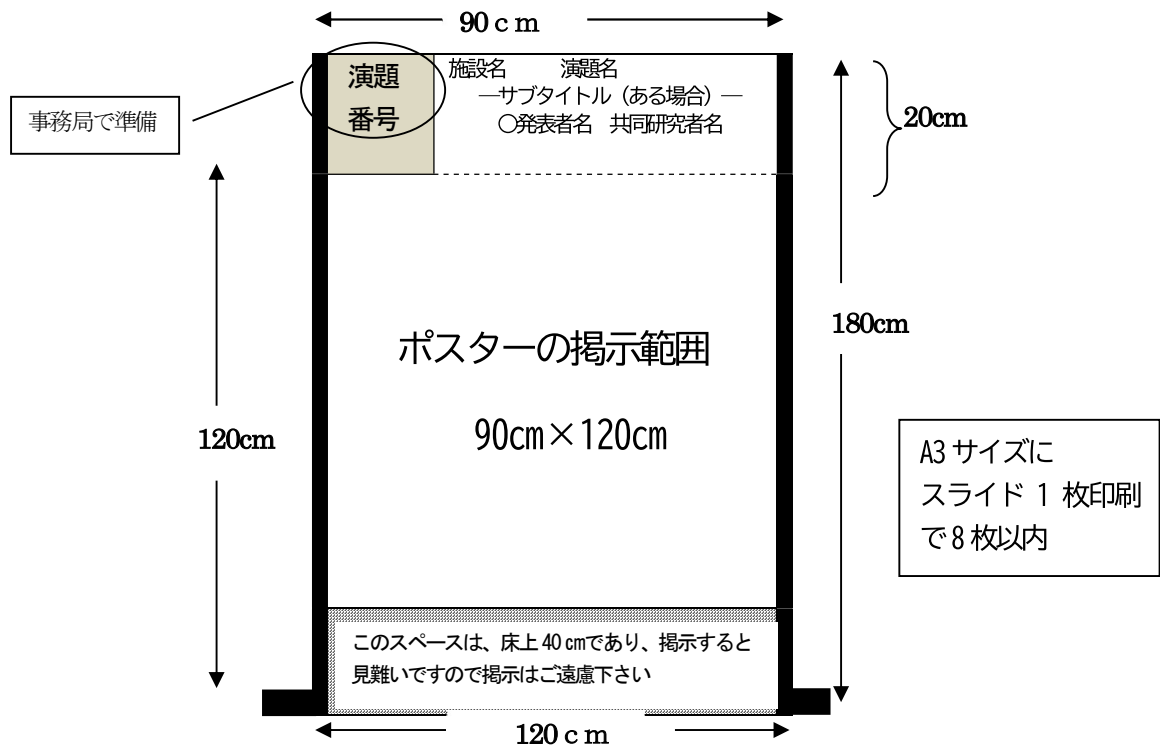
- ・発表の15分前までに研修サイトにログインし、表示名を「○群○席 氏名 (カタカナフルネーム)」に変更してご準備ください。
- ・座長から指示があるまで、画面共有等の操作は行わないようにしてください。
- ・発表開始のタイミングは、座長の指示に従ってください。
- ・発表時はチャット画面を表示し、座長や事務局からの指示にご注意ください。

5) その他

- ・発表時間は、1演題につき7分です。発表原稿は時間を超過しないように準備してください。
※一般に参加者が理解しやすいスピーチ速度は、1分間に250字程度と言われています。
- ・抄録集の中に研究内容のミス等があり、訂正を必要とする場合は、発表内で訂正してください。
(誤字等の訂正は割愛してください)

7. 示説ポスター作成方法

- 1) ポスター掲示パネルのサイズは、縦180cm、横120cmです。(下図参照)
- 2) ポスターの掲示可能範囲は、縦120cm、横90cmです。図表・写真・説明文などは、このスペースに配置できるように作成してください。
- 3) パネルの上段左端に演題番号を事務局が掲示します。ご自分の演題番号のパネルにポスターを掲示してください。演題番号の右側の縦20cm、横90cmのスペースに演題名(サブタイトル)・発表者氏名・共同研究者氏名・施設名を、各自で表示してください。



8. 結果の通知

- 1) 演題の採否は、兵庫県看護協会看護実践研究委員会が定めた基準に基づく査読を経て決定します。
- 2) 査読は、7月～9月中旬頃まで行い、査読結果は、演題申込者(発表者)本人宛にメールで通知します。
- 3) 査読の結果、修正を求めることがあります(概ね2～3回)。その場合は指摘された点を再考し、修正のうえ、指定された期日(査読結果通知日から2週間後)までに再提出してください。
- 4) 看護実践研究委員会では、採用された応募演題の研究報告もしくは実践報告としての発表成果が上がるよう、サポートします。